

# 1日目

1

## 太宰府天満宮とは

3

- 菅原道真公の御墓所の上にご社殿を造営し、その御神霊を永久にお祀りしている神社である。
- 「学問・至誠・厄除けの神様」として、日本全国はもとより広く世のご崇敬を集め、年間に約700万人の参拝者が訪れている。

## 太宰府天満宮

2



## 柳川の川下り

4



## 柳川の川下りとは

5

- 正確には堀割下りである。市内には総延長470 kmにもおよぶ大小の堀割が網の目のように巡り、独特な水郷風景を形成している。
- 堀割は、水をためることにより、降り過ぎた雨水を一時遊ばせて内水氾濫を防いだり、農業用水や防火用水などに利用され、市民の生活に重要な役割を担っている。

※堀割が持つ独特な情緒は詩聖・北原白秋の詩歌の母体となり、多くの文人にも愛された景観である。

## 佐野常民とは

7



佐野常民(1823年～1902年)

- 日本赤十字社の創始者。
- 日本の武士(佐賀藩士)、政治家であり、佐賀藩では海軍育成に尽力。
- フランスに渡るが帰国後、明治政府の下で海軍創設に努め、元老院議員・大蔵卿・元老院議長・枢密院顧問官・農商務相などを歴任する。
- 芸術・勸業の分野にも尽力。

## 佐野常民記念館

6



## 佐野常民記念館とは

8

- 佐野記念公園は、佐野常民の偉業を顕彰し、「博愛精神」を学んでいく①佐野常民記念館と、日本近代科学技術の源流といわれる②佐賀藩海軍書跡地の遺構を顕在化した歴史公園。
- 日本赤十字社の生みの親である佐野常民の業績に関わる資料、遺品などを展示すると共に、次世代教育・ボランティア活動・生涯学習・地域交流活動を通して、常民の偉業や人道、博愛の精神を学べる施設。



## 日本赤十字社の誕生

9

- 1867年パリ万国博覧会に参加した佐野常民は、各国に赤十字社が組織されていることを知った。
- 1877年(明治10年)の西南戦争で、その惨状に心を痛めた佐野常民と大給恒は、敵・味方の区別なく救護を行う団体として、日本赤十字社の前身「博愛社」を創立。
- 1886年(明治19年)、日本政府がジュネーブ条約に加盟したのを機に、翌年1887年から「日本赤十字社」と社名を改めた。

## 嬉野温泉とは

11

- 嬉野温泉は「肥前国風土記」(713年)に「東の辺に湯の泉ありて能く、人の病を癒す」と記され、江戸時代には長崎街道の宿場町として栄えた。
- ぬめりのあるお湯は、ナトリウムを多く含む重曹泉。美肌の湯とも呼称される嬉野温泉は、飲用にも適しており、胃腸や肝臓などの機能を活性化させる効果もあるという。
- 「日本三大美肌の湯」と称されている。

## 嬉野温泉

10



## 嬉野温泉の由来

12

- 神功皇后が戦いの帰り、この地に立ち寄られ、川中に白鶴が疲れた羽を浸して、元気に飛び立つ様子をご覧になり、戦いで傷ついた兵士を入れてみたところ、実は温泉が湧いていて兵士の傷が癒えたそう。
- 皇后がそれを喜ばれ「あな、うれしいの」と言われたことが、嬉野の地名の起源と伝えられている。

## 嬉野温泉名物

13



温泉湯豆腐

- 飲めば胃腸にもやさしい温泉水で、豆腐を煮込むと、煮汁が豆乳色に変わり、とろとろの豆腐に仕上がる。
- お土産やお取り寄せ用の温泉湯豆腐も人気がある。

## 水前寺成趣園

15



## 水前寺成趣園とは

16

- 熊本市にある大名庭園で、通称は水前寺公園。
- 豊富な阿蘇伏流水が湧き出して作った池を中心にした桃山式回遊庭園で、築山や浮石、芝生、松などの植木で東海道五十三次の景勝を模したといわれる。
- 1929年(昭和4年)に、国の名勝および国の史跡に指定された。

2日目

14



## 熊本洋学校教師館ジェーンズ邸

17



## 赤十字ゆかりの地～熊本洋学校教師館ジェーンズ邸～

18



有栖川宮熾仁親王から博愛社設立の許可を受ける佐野常民

- 1871年(明治4年)熊本藩が熊本洋学校を開設した際に招いたアメリカ人教師ロイ・ランシング・ジェーンズのために造らせた邸宅。
- 1876年、洋学校は閉鎖され、西南戦争で焼け残り、県の官舎となる。
- その後有栖川宮熾仁親王の宿舎にあてられ、佐野常民が博愛社の創設を嘆願し、その熱意により即日許可を受けた場所である。